

【1学年】アウトライン作成

【題材テーマ】ひろがれ えがお

プレ 教科学習		STEAM単元【●時間計画】 ★【ユーザー設定(誰の・どんな課題を解決するか)】を、どこで設定するか考えて記入する。		関連・協力する人材・施設等
		1. 探求し、知る学び	2. 発想し、創る学び	
【科学・数学】教科 算数「いろいろなかたち」 「おおきさくらべ」	① 問題発見 課題設定		⑤ 共感 おうちの人の「困っていること」や「もっとこうだったらいいの」を聞く。	【連携する地域資源】 おうちの人
【芸術】教科 国語「ともだちのこと、しらせよう」	② 情報収集		⑥ 問題定義 おうちの人から聞いてきた「困っていること」や「もっとこうだったらいいの」をもとに、どんな困りごとを解決するのかを考える。	
【技術・工学】教科	③ 整理・分析		⑦ 発想 「困っていること」を解決するモノや、「もっとこうだったらいいの」を叶えるモノを考える。	【サポーター】 おうちの人、担任の先生
	④ まとめ ・表現		⑧ プロトタイプ (試作品) 「困っていること」を解決するモノや、「もっとこうだったらいいの」を叶えるモノを作る。 ※実際に作る	【アウトプットの想定、期待する児童の姿】 ・豆腐切りマシーン ・洗濯・感想・たたみ機 ・おそうじロボット ・そうじができるスリッパ ・かさ乾かし機 ・挟むだけで肉の繊維が切れるマシーン
		メモ ・お手伝いの順番を決める。 (一つのお手伝いの中での順番、複数のお手伝いを組み合わせる) →効率を求めるのは、自分のため？ ・困りごとを限定的にする	⑨ テスト おうちの人に実際に使ってもらおう。	

1年2学期 単元名 (題材・テーマ)		ひろがれ えがお					
児童の実態	長所	○自分が作りたいものを考えることができる。 ○自分が作りたいものを、身近なものを使って作るができる。					
	課題	▲自分が家庭でできることがあることに気づいていない。					
目標	アウトプットの想定期待する児童の姿	・豆腐切りマシーン・洗濯・乾燥・たたみ機・消しゴムのかす集め機・そうじができるスリッパ・かさ乾かし機・挟むだけで肉の繊維が切れるマシーン					
	知識・技能	家庭での生活は互いに支え合っていることが分かるとともに、自分にも家族のためにできることがあると気付いている。					
	思考・判断・表現	家庭生活における家の人のこと、家の人の良さ、自分でできることについて考えたり、家族が笑顔になるように工夫したりして、それをまとめたり表現したりできる。					
	学びに向かう態度	家族がしていることや、家族にしてもらっていることに興味をもち、家族の笑顔が増えるような道具を考えようとする。					
学習活動計画	★ ユーザー設定	1. 2	おうちの人に、家の仕事について、どのような仕事があるのかと、仕事で困っていることを聞く。	・指導の手立て・留意事項 ・連携する地域資源・サポーター	【道徳】おかあさんのつくったぼうし		
	⑤ 共感			・おうちの人 ★家庭に通信を出して、ねらいを共有する。 ★自分のことは自分でしてほしいという願いは無し。 ○家に持ち帰るワークシートの下部に教師のねらいや学習の進め方などを載せることで、おうちの人からグッズづくりにつながりそうな困りごとが出てきていた。 ▲お家の人の困っている姿を見ていなかったで、子ども達はイメージがもちにくかった。実際に困っている時の様子や、こんな物があればうれしいということ、具体的にお家の人から話してもらった必要があった。			
	⑥ 問題定義	3	おうちの人から聞いてきた家の仕事と困っていることをもとに、解決する問題を4つほど決める。  おうちの人に、どの問題を解決したいかインタビューをする。	★弟や妹の面倒を見ることは、お手伝いに入れないようにする。 ★解決する問題ごとに3～4つ項目に分ける。	【国語】ききたいな、ともだちのはなし 【国語】しらせたいな、みせたいな 【国語】いいこといっぱい、一年生		
	⑦ 発想	4	おうちの人困っていることを解決するものを考える。	★解決する問題ごとに3～4つのグループに分かれる。 ★グループで共通の解決策を考える。 ★それぞれが家庭にあったもの考える。 ○4～5人×10班に分かれた。4人が考えやすくてよいと感じた。			
	⑧ プロトタイプ (試作品)	5. 6. 7	おうちの人困っていることを解決するものを作る。	★グループの中でアドバイスをし合う。			
	⑨ テスト	8	作ったものについて紹介するビデオレターを撮り、おうちの人に実際に使ってもらう。	・おうちの人 ▲ビデオレターを撮って持って帰ったが、うまく見ることができないお家が多かった。			
	【教科】 単元名	【国語】 ききたいな、ともだちのはなし	【国語】 しらせたいな、みせたいな	【道徳】 25おかあさんのつくったぼうし	【国語】 いいこといっぱい、一年生		
身につける力 【知・技】 【思・表】	【思】 ・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	【技】 助詞「は」「を」「へ」の使い方、句読点の打ち方、鍵かっこの使い方 【思】 ・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりする。 ・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。	家族を敬愛し、家族のために役立つとうとする意欲をもつ。	【思】 自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。			

1年2学期 単元名 (題材・テーマ)		ひろがれ えがお						
児童の実態	長所	○自分が作りたいものを考えることができる。 ○自分が作りたいものを、身近なものを使って作るができる。						
	課題	▲自分が家庭でできることがあることに気づいていない。						
目標	アウトプットの想定 期待する児童の姿	・豆腐切りマシーン ・洗濯・乾燥・たたみ機 ・消しゴムのかす集め機 ・そうじができるスリッパ ・かさ乾かし機 ・挟むだけで肉の繊維が切れるマシーン						
	知識・技能	家庭での生活は互いに支え合っていることが分かるとともに、自分にも家族のためにできることがあると気付いている。						
	思考・判断・表現	家庭生活における家の人のこと、家の人の良さ、自分でできることについて考えたり、家族が笑顔になるように工夫したりして、それをまとめて表現したりできる。						
	学びに向かう態度	家族がしていることや、家族にしてもらっていることに興味をもち、家族の笑顔が増えるような道具を考えようとする。						
学習活動計画		時数 【全○時間】	学習活動		・指導の手立て・留意事項 ・連携する地域資源・サポーター		関連教科・単元	
	⑤ 共感	1	おうちの人の「困っていること」や「もっとこうだったらいいの」を聞く。					
	⑥ 問題定義		おうちの人から聞いてきた「困っていること」や「もっとこうだったらいいの」をもとに、どんな困りごとを解決するのかを考える。					
	⑦ 発想		「困っていること」を解決するモノや、「もっとこうだったらいいの」を叶えるモノを考える。(おうちの人か? おうちの人と? 自分で?)					
	⑧ プロトタイプ (試作品)		「困っていること」を解決するモノや、「もっとこうだったらいいの」を叶えるモノを作る。					
⑨ テスト		おうちの人に実際に使ってもらう。						
【教科】 単元名	【国語】 ききたいな、ともだちのはなし	【国語】 しらせたいな、見せたいな	【道徳】 25おかあさんのつくったぼうし	【国語】 いいこと いっぱい、一年生	【】	【】	【】	【】
身につける 力 【知・技】 【思・表】	【思】 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。	【技】 助詞「は」「を」「へ」の使い方、句読点の打ち方、鍵かっこの使い方を理解し、文の中で使う。 【思】 ・経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりする。 ・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。	家族を敬愛し、家族のために役立つようとする意欲をもつ。	【思】 自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。				